

【基本施策】

16. 交通安全を推進する

【基本方針】

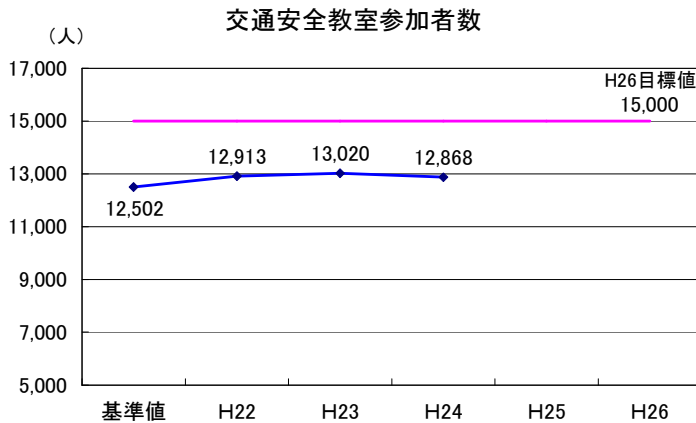
子どもや高齢者向けの交通安全教室を開催することにより、交通安全ルールの習得や安全意識の向上に取り組めます。また、子どもを対象とした交通安全教室の機会により、保護者の交通安全意識の向上を図り、高齢者を対象とした交通安全教室では運転免許自主返納を啓発するなど、一度の機会でも複数の効果が期待できる新しい交通安全教室のあり方についても工夫を図ります。

また、年4回行われる交通安全県民運動では、交通安全市民大会などの各種イベントや交通安全の啓発広報により、交通事故防止や交通ルールの普及、交通安全意識の高揚を図ります。

【実施施策】

◇交通安全対策の強化

【施策成果指標】



交通事故の防止と交通安全教育の徹底および交通安全思想の普及を図るための指標として、園児・児童・高齢者などの交通弱者に対する交通安全教室参加者数の増加を目指します。

【構成事務事業の達成ランクおよび方向性】

基本施策	構成事務事業の状況											
	H24 ランク				H26 方向性							
	A	B	C	小計	事務改善	内容拡大	内容縮小	維持	終了	廃止 休止	統合	小計
交通安全を推進する	4	2	0	6	0	0	0	6	0	0	0	6
交通安全対策の強化	4	2	0	6	0	0	0	6	0	0	0	6

これまでの取組み成果

子どもや高齢者向けの交通安全教室を開催し、交通ルールの遵守、交通安全教育の徹底と、チラシ・ポスターの作成および配付を行い交通安全の普及を図っている。

また、高齢者が交通事故の加害者とならないよう、高齢者の運転免許自主返納を促進している。

- ・平成24年度交通安全教室 155回 12,868人
- ・運転免許自主返納数 394人（平成19～24年度）

今後の課題

交通死亡事故の犠牲者に占める高齢者の割合は依然として高く、交通死亡事故をゼロにするには高齢者の安全教育が不可欠である。

今後の施策展開

高齢者の交通安全教育をより徹底させるために、老人クラブ単位または町内単位で開催する交通安全教室の開催回数を増加させる。

また、高齢者の免許の自主返納を推進するため、新たに交通災害共済に掛金の永年全額負担とつつじバスの永年交付の制度の周知を行う。

【総合評価】

A 政策目標に向けて高いレベルで推移している。

B 政策目標に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。

C 政策目標に向けてあまり順調ではなく、一層の努力が必要である。

D 政策目標の達成には程遠く、全体的な努力が必要である。

〈H24 総合評価：B〉